

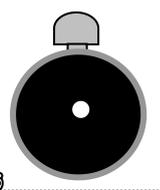
自覚的屈折検査-ピンホール板:円孔板による方法

目的

- ・屈折矯正が正しいかの判断
- ・散瞳後の視力矯正

ピンホールを以下PHと略す。

準備物 視力検査機・検眼枠・遮閉板・検眼レンズ・円孔板(ピンホール板)



孔の大きさは色々。
散瞳した場合の視力矯正は通常の瞳孔の大きさ3mm位が適当。

片眼ずつ 5mにて視力矯正をする

例) 矯正視力が**出ない!**

説明①
裸眼又は矯正レンズ上に1mm位のPH板を装用して視力が向上するか?

NO又は低下 あまり変化なし
中央に白内障があるなど。又、正視の場合は回折効果の為、少し見にくくなる。

結果・記載例)

RV=0.05 (0.1 × S-7.0D)
(0.5 × S-7.0D:PH/1mm)

少なくともPHで視力が向上する場合、最高視力はこれである!

レンズホルダーの最も内側に入れること。

他覚値が全く判らない場合、裸眼でここからスタートしても良い

矯正(又は裸眼)上から被検者にPHを通して遠方の視標を見せ、PH板自体を軸として回転させると像はどう動かか尋ねる

この方法は0.25~0.50Dまでの屈折異常が判ると言われているが難しい。

PH板と視標(像)が**同行する**

よく判らない

PH板と視標(像)が**逆行する**

近視?

遠視?

被検者の見え方だよ!

PH板を被検者の眼から遠ざけると視標が小さくなるか?

PH板を被検者の眼から遠ざけると視標が大きくなるか?

近視

よく判らない

遠視

よく判らない場合は、とりあえず裸眼でも矯正でもPHにて視力が向上したなら、再度矯正しなおす。

上記の手がかりから再度視力矯正を行うと視力が向上するか?

不正乱視?

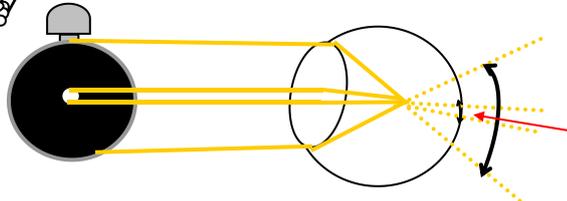
角膜面の検査で異常があるか?

視力矯正ミス

不正乱視

屈折異常・不正乱視以外である

説明① なぜPHを装用すると視力が向上するのか? ...網膜上の錯乱円が小さくなるから



ピンとはあっていないが、網膜上の錯乱円が小さくなる

長所
眼の光学的収差の除去。焦点深度が深くなる。

短所
網膜照度が低下する。回折の影響が出る。